

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 7 億円
		特定交通安全施設等 整備事業 (主)西脇三田線	加東郡滝野町北野		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
加東郡滝野町北野				平成 13 年度	平成 16 年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・交通量の多い当該道路の歩車分離を図るとともに交 差点の改良を行い、交通安全対策を推進する。	歩道整備 (両側) L = 4 0 0 m W = 2 . 0 m

評価視点	評価内容
(1) 必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、歩行者・自転車交通量が多い。 (自動車 13,246 台/日、歩行者 275 人/日、自転車 541 台/日) ・学童・園児交通量 (99 人/日)。 ・死傷事故率 (154 人 / 億台 km)。 ・沿道状況は市街地。 ・交通安全総点検実施地区。 ・中国自動車道滝野・社インター (約 400m) があり、交通流の広域化がみ られるとともに、高速バスの利用者も多く通行者層の幅が広い。 ・滝野中学校の通学路に指定されており、また滝野東小学校の児童が横断 している。 ・歩道の連続性確保。 ・前後の整備状況・・・175号歩道整備済み。 滝野大橋側道橋整備済み。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化要望あり。
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・歩道整備に併せて一部交差点の改良を行うことから渋滞緩和に寄与する。 ・円滑な用地取得に向けて、滝野町と用地取得体制に関する協議済み。
(3) 環境適合性	透水性歩道舗装の採用
(4) 優先性	当該箇所は市街地にあり、周辺に滝野・社 I C や高速バス停があり、多 様な通行状況である。その上、自動車交通量や歩行者・自転車交通量が多 く、滝野中学校の通学路にも指定されている。このため、早急に歩道の整 備を行う必要がある。

評価 の結 果	着手妥当	左 の 理 由 審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
---------------	------	--